

第60回日本神経学会学術大会

「メディカルスタッフセッション」にご参加くださいました皆様へ

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

此の度は、大阪で開催いたしました、第60回日本神経学会学術大会にご参加いただき、誠に有難うございました。幸い連日好天にも恵まれ、お蔭さまで約7,900名の多くの皆様にご参加いただきまして、無事終了することができました。これもひとえに皆様のご協力とご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。

今年、第60回という節目の大会であり、元号が平成から令和に改まった直後の開催となりました。また、大阪では44年ぶりの開催ということもあり、様々な意味で記念すべき大会となりました。本学術大会を担当させていただきましたことは大変光栄なことであり、皆さまに御礼を申し上げます。本学術大会の運営にあたっては、学会事務局と運営事務局の双方の御協力のもとで、作業を進めることができました。またプログラム編成にあたっては学術委員や教育プログラムワーキンググループ、及び関連の皆様にも多大な御支援を頂きました。日本神経学会では学術大会国際化の大方針を掲げていますが、今回の企画プログラムの内、シンポジウム等の学術プログラムについては約半数が英語プログラムとなり、一般演題では、口演・ポスター共に約4割が英語となって、さらに国際化をすすめることができました。このように皆様からたくさんの御協力と御支援を頂き、学術大会を開催・運営することができました。ここに改めて感謝申し上げます。

神経疾患には介護度が高いものも多く、長期間の療養を要するものが多いこと、また難治性疾患の多いこと等、他の診療科とは異なった特徴があります。神経疾患診療においては、病気に精通した多職種連携からなるチーム医療が欠かせません。そこで、本学術大会におきましては従来の学術大会の方針を踏襲して、メディカルスタッフの皆様から演題を募集すると共に、教育セミナーを企画させて頂きました。今回のプログラムがメディカルスタッフの皆様の明日からのお仕事のお役に立つものになったとすれば、大変幸いに存じます。

ここに第60回学術大会の全日程が無事終了しましたことを報告させて頂きます。大会を盛り上げていただきました皆様に重ねて心より御礼を申し上げます。

以上、略儀ながら御礼のご挨拶とさせていただきます。皆様の益々のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2019年5月吉日

第60回日本神経学会学術大会

大会長 楠 進

近畿大学医学部脳神経内科 主任教授

【大会長校事務局】近畿大学医学部脳神経内科

【学会事務局】日本神経学会事務局

【運営事務局】第60回日本神経学会学術大会運営事務局
(株式会社コンベンションリンケージ)

